

# 菱の実

佐賀大学理工学部同窓会会報 第22号



発行日 2020年7月1日

発行 菱実会

佐賀市本庄町1 佐賀大学内

TEL 0952-23-1253

FAX 0952-25-5700

E-mail dousoukai@sadai.jp

ホームページ <http://sadai.jp/alumni/>

編集 代表者 小玉純士

## 加速展開する時代を生き抜ける力をどう養うか



菱実会会長  
穂屋下 茂(機械・S45入)

理工学部は、1966年に文理学部の改組に伴って設置され、時代のニーズに伴って学科が増え、理工学部同窓生もかなり増加しました。理工学部同窓会は、理工学部創立から33年目（1999年）にして楠葉同総会から分離独立しました。それから20年。この間に、インターネットのグローバル化に伴って世の中は著しく変わっていきました。

1970年代中頃に手ごろなパソコンが登場し、1995年にWindows 95が発売されるとパソコンユーザーが爆発的に増えました。2007年のiPhone発売後、モノのインターネット化（IoT）、人工知能（AI）、及びロボット工学が驚くほど急速に進みました。そして、最近「小学校に入学した子供たちの65%は、大学卒業時に今は存在していない職業に就くだろう」という発言が話題をよびました。そこに、突然、新型コロナウイルス感染拡大騒動が持ち上がりました。この4月の緊急事態宣言等により、学校や職場などに通えず自宅待機しなければならなくなり、これを機に、テレワーク（在宅勤務）による職務も日常的に遂行できることが必要な社会に変わり始めようとしています。騒動が落ち着いても、日常的なレベルに達しているネットショッピングに続いて、教育はオンライン学修、仕事はテレワーク、病気になったらオンライン診療というような社会環境は継続・発展していきそうです。もちろん、未熟なシステムのままで良いはずはなく、十分な質の保証が求められ、そこには大きなビジネスチャンスが生まれます。さらに、優れたAIと高速インターネットで結ばれた各種ロボットはますます高性能になり、着実にSociety5.0へ突入していくことでしょう。

そういった時代を生き抜くためには、自律した教育・学修環境を本物にしていくことが必要です。高校までの学習は教師から習い学ぶことでしたが、大学における学修は学んで身につけるものでなければなりません。自ら深く考え、問題点を見つけ、解決していく力を修得することが必要でしょう。この学修力は、現役の学生のみでなく、卒業した我々にも必要な力だと思います。

菱実会では、一年前から同窓生のためのオンライン型の菱実会生涯学習サイトの構築も行っています。まだ4コースしかありませんが、これから順次増やしていくつもりです。人生100年時代となったこれからは、定年後も何かに再チャレンジするなどして、一人ひとりが健全な肉体と精神を保ちつつ時間を有効に使う努力が必要だと思います。是非、菱実会生涯学習サイトを訪問してください。これからの同窓生皆様のご健勝とご活躍を祈っております。

### 理工学部同窓会（菱実会）の紹介動画

理工学部同窓会（菱実会）の紹介動画を作成しました。発展する佐賀大学・理工学部の構内建物の配置、理工学部同窓会（菱実会）の発足、および同窓会の活動・役割などを説明しております。航空写真で観る佐賀大学本庄キャンパスは懐かしいですよ。是非、観てください。

URL : <http://sadai.jp/alumni/ryoujitsukai/news/202005011574/>



# 理工学部長のあいさつ

豊田 一彦 理工学部長（理工学研究科長・工学系研究科長）

この度の新型コロナウイルスの感染拡大に際しまして、多くの方々が直接的・間接的に影響を受けられたこと、心よりお見舞い申し上げます。

大学におきましても、卒業式や入学式など学生にとって人生の大きな節目となるイベントを中止せざるをえなくなったことは誠に残念でした。また、授業も前学期は全てオンラインで実施することになり、教員の方も慌てて準備を進めることになりました。このような事態は我々教員としても初めての経験であり、開講前には、今のような状態ではオンライン授業など到底無理だという意見も多くありました。また、学修のための情報インフラもこのような状況は全く想定しておりませんでしたので、オンライン授業をうまく開始できるかどうか全く未知の取組みとなりました。一方、昨年度の1年生からパソコンは必携となっておりますので、基本的には全ての1、2年生が自分のパソコンを持っているという状況にあったことは何よりでした。アクセス集中によるサーバのダウンや学生がどこに教材を見に行けばよいか分からないというようなことも多々あり、ICTを活用した新しい教育環境作りにはまだまだ課題が多いことも明らかになりましたが、幸いにもこの原稿執筆時点では、オンライン授業に関してそれほど大きな問題は聞こえてきておりません。充分ではないかもしれませんが、やってみれば何とかなるものです。

しかしながら、新入生はゴールデンウィークが明けてもなお、大学に来ることができないという状況が続いています。サークル活動や新しい友人関係を築くことも大学教育の重要な役目だと思います。一日でも早く、皆が笑顔でキャンパスに集える日が来ることを心から願っております。

一方、現在の2年生からは、一般入試は一括で募集し、2年生から専門コースに配属するという新しいカリキュラムになりました。500人以上の学生の成績を管理し、彼ら・彼女らの希望と成績により間違いなくコース配属を行うというのは、非常に神経を使うもので、しかも時間的余裕もない中での作業でしたが、これについては新型コロナウイルスが深刻になる前に作業を終えることができました。希望順位の低いコースに配属になった学生もおりますが、配属されたコースで自分の適性を見つけられるよう頑張ってもらいたいと思います。

理工学部は、すべてのステークホルダーの皆様から頼りにされる存在になることを大義としています。今後とも引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。



きれいに整備された正門近傍。左は改装された教養教育2号館  
右は休館中の美術館と学生入構禁止の立て看板（2020/5/28）

## 理工学部ウェブサイトのリニューアル

理工学部ウェブサイトが2020年5月にリニューアルされました。トピックス、イベント、受賞・表彰、国際交流などのニュースを新着情報として紹介しております。スマートフォンにも対応しています。是非、訪問して下さい。

URL : <https://www.se.saga-u.ac.jp>

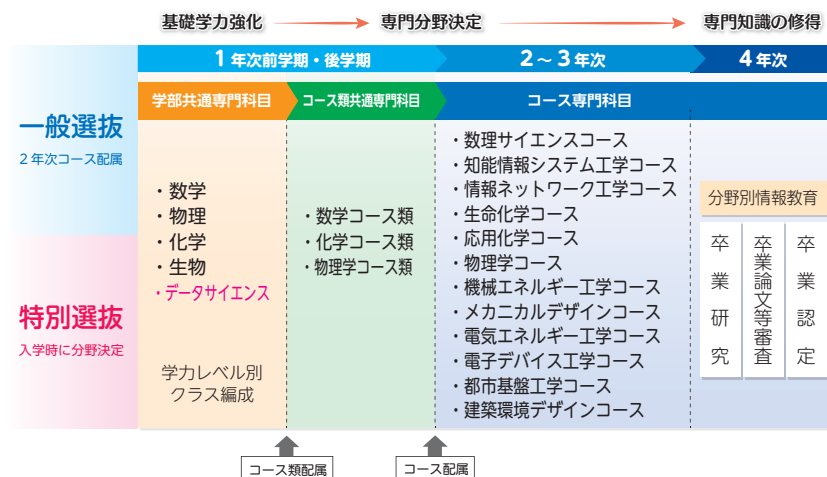


# 時代のニーズと共に発展する理工学部2020

後藤 聡 (副学部長：広報担当)

## ○ 理工学部の教育

佐賀大学理工学部は、2019年4月に理工学科1学科の12コースに生まれ変わりました。学年進行により段階的に専門分野を絞っていく仕組みにより、数学、物理、化学、生物といった基礎学問や情報セキュリティや知財、研究者倫理・技術者倫理といった理工学基礎力を身に付けさせ、展開力・理工学基礎力を強化し、広範な分野と理工学の融合を実現できる能力を養います。



## ○ 教育研究院の設置

佐賀大学は、2018年4月に教育研究院を組織し、教員がより柔軟で横断的な教育研究活動が行えるように、教教分離（教員組織と教育組織の分離）を行いました。教員組織は、3つの学域で構成し、効率的な組織運営のため7つの学系等を設置しています。教員は教育研究院のいずれかの学域・学系に所属し、各々の専門分野に応じて必要とされる学部、研究科等に配置されています。理工学部の教員は、「自然科学域・理工学系」に所属して教育研究活動を行い、教育組織（理工学部及び理工学研究科修士課程・工学系研究科後期課程等）に配置され、学生の教育を行っています。

### 理工学部関係の教員配置（専任のみ記載）

(教：教授 准：准教授 講：講師 助：助教)

#### 【理工学部教員（7部門）】

- 数理部門（教3名、准3名、講2名）
- 情報部門（教7名、准5名、講1名、助3名）
- 化学部門（教11名、准7名、助3名）
- 物理学部門（教5名、准7名）
- 機械工学部門（教9名、准12名、講1名、助3名）
- 電気電子工学部門（教9名、准12名、助2名）
- 都市工学部門（教9名、准8名、講2名、助2名）

#### 【センター教員（理工学部関係）】

- 海洋エネルギー研究センター（教4名、准4名、助1名）
- 総合分析実験センター（准2名、助1名）
- 総合情報基盤センター（教1名、准2名、助1名）
- シンクロトロン光応用研究センター（教1名、准2名、助3名）

### 【理工学部研究会】

理工学部では、理工学部の戦略的研究を育成することを目的として2019年度より理工学部研究会を設置しています。発足時の3研究会●コミュニティデザイン研究会、●ものづくり匠研究会、●膝関節シミュレータ開発研究会に加えて、2020年度には佐賀地域の農水産業、製造業、医療健康福祉をスマート化（AI、IoT、自律化）により活性化する●スマート化推進研究会（URL: <http://saga-u-smart-project.matrix.jp/wp2/>）が新たにスタートしました。

### 【理工学部の国際交流】

理工学部では、様々な国際交流プログラムも積極的に行っており、グローバル人材の育成を行っています。

- 環境・エネルギー・健康科学グローバル教育プログラム
- 戦略的国際人材育成プログラム
- 国際パートナーシップ教育プログラム
- その他の国際交流活動



理工学部学生国際交流活動組織（STEPS）

佐賀大学理工学部長表彰を授与された成績優秀者で構成される学部公認の学生による国際交流活動組織です。海外の大学や研究所等での研修や外国人留学生との交流会などを積極的に行っています。2019年度の海外研修先はベトナムのホーチミンで、UITとVNUHCM-USの2つの大学を訪問しました。

## 理工学部と理工学部同窓会との意見交換会

2019（令和元）年11月20日（水）、佐賀大学菱の実会館にて、理工学部と理工学部同窓会との意見交換会を開催しました。理工学部からは、豊田学部長ほか副学長、部門長、事務長の計9名と、同窓会からは、穂屋下会長ほか副会長、理事の計12名が参加しました。

始めに穂屋下会長から、次に豊田学部長から挨拶がありました。穂屋下会長からは、9月7日に開催した菱実会総会懇親会への出席及び会報「菱の実」第21号の原稿執筆のお礼を述べた後、同窓



意見交換会の様子

会の設立から今日までの経緯や今後の在り方についての簡単な説明、最後に出席者皆様の意見を取り入れながら同窓会をもっと活性化していきたいとの話がありました。豊田学部長からは、学部学生支援のお礼の後、今年より始まった理工学部の入学者くくり募集の進捗状況や今後の課題である大学の適正規模についての説明、最後に地域に頼られるような存在を目指していきたいとの話がありました。

続いて、同窓会各役員から簡単な自己紹介、理工学部の各部門長から自己紹介及び担当部門の状況（例えば、改組による現状と課題について、就職は良好であるがその影響から大学院への進学者が減っていること、IT情報分野の人気があることなど）の説明がありました。

## 2019年度佐賀大学の学部卒業生と研究科修了生

佐賀大学学位授与式は2020（令和2）年3月24日（火）に予定されていましたが、新型コロナウイルス感染拡大を回避するため、誠に遺憾ながら、学位記授与式及び、学科毎の祝賀会・謝恩会は中止になりました。なお、2019年度の理工学部関係の卒業生は右の通りでした。卒業生・修了生の皆様の今後のご活躍を期待しております。

理工学部	卒業
数理科学科	28名
物理科学科	38名
知能情報システム学科	60名
機能物質化学科	84名
機械システム工学科	95名
電気電子工学科	88名
都市工学科	94名
<b>計</b>	<b>487名</b>

大学院工学系研究科博士前期課程修了	
数理科学専攻	4名
物理科学専攻	11名
知能情報システム学専攻	12名
循環物質化学専攻	34名
機械システム工学専攻	32名
電気電子工学専攻	28名
都市工学専攻	14名
先端融合工学専攻	33名
<b>計</b>	<b>168名</b>

大学院工学系研究科博士後期課程修了	
システム創成科学専攻	7名

## 2020（令和2）年度佐賀大学入学者数

2020（令和2）年度の佐賀大学の入学式は、4月2日（木）に開催される予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止になりました。2020年度の学部と研究科の入学生数は右の通りでした。新型コロナウイルスに負けずに勉学に励み成長されることを期待したいと思います。

<b>【学部】</b>	
理工学部	503名
<b>【学部（編入学）】</b>	
理工学部	20名
<b>【研究科（修士課程）】</b>	
理工学研究科	163名
<b>【研究科（博士後期課程）】</b>	
工学系研究科博士後期課程	5名

## 2019年度理工学部キャリアデザインセミナー実施状況

理工学部キャリアデザインセミナーは、理工学部の学生のために各学科（部門）で企画及び開催をお願いしております。2019年度理工学部キャリアデザインセミナーは、7部門で開催しました。なお、各部門（学科）を超えて、また他の学部の学生さんの参加も歓迎しております。

2019年度理工学部キャリアデザインセミナー開催実施一覧表

部 門	実 施 日	講 師	世話人
数 理	2019年12月19日(木) 理工学部6号館	白 谷 峻 (H27大学院入・数理科学専攻) 富国生命保険相互会社 主計部数理グループ	半田賢司先生
情 報	2019年12月5日(木) 理工学部7号館	蒲 原 聡 史 (H10入・知能情報システム学科) 佐賀県警察 生活安全課	山下義行先生
		荒 木 直 人 (H23入・知能情報システム学科) 株式会社SUMCO システム部システム企画課	
化 学	2019年12月18日(木) 理工学部9号館	宮 井 翔 太 (H18入・機能物質化学科) パンパシフィック・カッパー株式会社 製造部製錬課製錬銅係	海野雅司先生
	2020年1月22日(木) 理工学部9号館	原 口 翔次郎 (H22入・機能物質化学科) 昭和オプトロニクス株式会社 第二技術部	
物理学	2019年11月18日(月) 大学院棟	大 藤 あゆみ (H22入・物理科学科) 株式会社 AQUAPASS 設計・開発グループ開発	河野宏明先生
	2019年12月16日(月) 大学院棟	宮 下 遼 (H20入・物理科学科) 三菱電機株式会社 鎌倉製作所宇宙技術第二課	
機械工学	2019年11月20日(木) 教養2号館	片 山 卓 (H18入・機械システム工学科) 株式会社 IHI 航空・宇宙・防衛事業領域 呉第二工場生産技術部	木上洋一先生
		堤 駿 (H18入・機械システム工学科) 株式会社 名村造船所船殻部 外業課 建造係	
電気電子工学	2020年1月6日(月) 大学院棟	石 川 洋 平 (H9入・電気電子工学科) 有明工業高等専門学校 創造工学科・准教授	松田吉隆先生
		佐 藤 茂 (S63入・電子工学科) アルプスアルパイン(株) 開発部	
都市工学	2020年1月15日(木) 理工学部6号館	森 山 拓 弥 (H24入・都市工学科) 大和ハウス工業(株) 佐賀支店	三島伸雄先生
		古 賀 大 輝 (H25入・都市工学科) 株式会社 長大 上野オフィス 第一構造事業部 第三構造技術部	

セミナー実施の報告は、部門毎に菱実会ウェブサイト (URL: <http://sadai.jp/alumni/ryoujitsukai/news/>) に公開しております。そちらをご覧ください。

知能情報の担当の山下先生の報告によると、セミナーを必修科目とリンクさせたため、写真に示すように70名を超える学生が聴講したとのことでした。

聴講生のレポートによると、1番目の講演については、「仕事を「始める理由」と「続ける理由」を考えるべき」、「運動、食事、睡眠を大切にする」、「やれることよりも、やってみたいことを志望動機にする」などが印象に残ったとの感想が多く、2番目の講演については、「SPI対策は早めに」、「志望動機を思いつかない会社には応募しない」などが印象に残ったようです。



知能情報システム学科のセミナーの様子

2020年度の計画は菱実会ウェブサイトの「新着情報」で、逐次案内しますので、各部門（学科）を超えて、また他の学部の学生さんも誘ってご参加下さい。

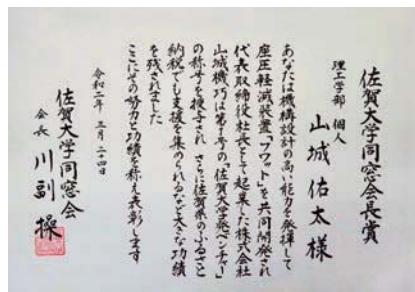
## 2019年度（第5回）佐賀大学同窓会長賞

佐賀大学同窓会では、社会活動、教育、研究等で顕著な社会貢献があったと認められる個人又は団体に「佐賀大学同窓会長賞」を授与しています。今年度は芸術地域デザイン学部から初めての卒業生が出て、佐賀大学の6つの学部から推薦された方々を佐賀大学同窓会役員会で審査した結果、6名の方々に佐賀大学同窓会長賞を授与しました。

理工学部からは、個人で山城佑太君が受賞しました。

### 表彰理由

機構設計の高い能力を発揮して座圧軽減装具「フワット」を共同開発し、代表取締役として起業した株式会社山城機巧は第1号の「佐賀大学発ベンチャー」の称号が授与され、さらに佐賀県のふるさと納税でも支援を集めるなど大きな功績を残されました。



賞状の紙は、佐賀で300年の歴史を持つ「肥前名尾和紙」で、賞状の筆文字は賞状書士の方の手書きです

表彰は佐賀大学学位記授与式の中で行う予定でしたが、新型コロナウイルスの感染の拡大を防ぐため学位記授与式が中止になりましたので、直接手渡すことができませんでした。賞状と記念品は、受賞者の方々に郵送いたしました。

## 2019年度（第4回）菱実会賞

菱実会賞は、佐賀大学理工学部の在學生（1～4年生）で、社会活動、課外活動、学術研究活動等において成果や評価が顕著であると認められた場合に表彰する制度です。2019年度の菱実会賞の受賞者は1名でした。授賞式を2019年12月16日(月)に行いました。



第4回菱実会賞の表彰式

受賞者：山城 佑太 君（機シ・H28入）

題目：座圧軽減装具「フワット」の開発と普及活動

## 2020年度（第16回）理工学部長賞

2020年度の理工学部学生表彰式（理工学部長賞）は、新型コロナウイルスの感染の拡大を防ぐため、従来続けてきた授与式は延期になりました。

学生表彰は、2019年度の2年次及び3年次の学生で成績が優秀であると認められた学生に対し、各学科から2名、合わせて14名が表彰され、共催の同窓会（菱実会）からは図書カードが贈られます。表彰者は、表彰式があり次第 菱実会ウェブサイトの活動報告でお知らせします。

## 理工学部学生の広報活動への支援

この賞は、顕著な活動や学会発表での受賞等により理工学部・工学系研究科・理工学研究科の広報に貢献した学生を表彰するとともに菱実会よりインセンティブとしてクオカードを授与することとしたものです。2019年度の1年間で63名の学生に対して菱実会・理工学部広報賞が授与されました。



菱実会・理工学部広報賞の贈呈

### ◆菱実会・理工学部広報賞一覧（2019年度前期分）（受賞学生人数：29名）

記事日付	記事名	学生氏名	教員の部門
2019/3/29	電気電子工学専攻大学院生が学生会講演奨励賞を受賞	山崎巨竜	電気電子
	機械システム工学科学部生が日本機械学会九州支部九州学生会第50回学生会卒業研究発表講演会において優秀講演賞を受賞	巻岐尾 泰介・巻岐尾 湧介・吉弘季幸	機械
2019/4/5	電気電子工学専攻の大学院生が電子情報通信学会エレクトロニクスソサイエティ学生奨励賞を受賞	Elton do Nascimento Lima	電気電子
2019/4/24	工学系研究科大学院生4名が佐賀大学学長賞を受賞	畑田 日奈子	化学
	工学系研究科大学院生4名が佐賀大学学長賞を受賞	Elton do Nascimento Lima	電気電子
	工学系研究科大学院生4名が佐賀大学学長賞を受賞	日高賢太	機械
	工学系研究科大学院生4名が佐賀大学学長賞を受賞	大村 肇	情報
2019/5/28	佐賀市適応指導教室「くすの実」で大学院生らが理科実験教室を実施	重富敬太・高木 伸太郎	化学
2019/6/21	佐賀市適応指導教室「くすの実」で大学院生らが理科実験教室を実施(2)	重富敬太・高木 伸太郎・坂梨慧一	化学
2019/6/24	ICTまちづくりデザインに関する研究経過報告会を開催	Rami Derbel・山下航平・中村圭助・土屋裕大・峰雄大	電気電子
2019/7/18	佐藤和也研究室の研究発表がFOOMA AP（アカデミックプラザ）賞を受賞	吉弘季幸	機械
2019/7/22	佐賀市適応指導教室「くすの実」で大学院生らが理科実験教室を実施(3)	重富敬太・高木 伸太郎・坂梨慧一	化学
2019/8/19	電気電子工学専攻の大学院生がアンテナ・伝搬の国際会議でBest Paper Awardを受賞	Maodudul Hasan	電気電子
2019/9/9	機能材料化学コース大学院生が化学関連支部合同九州大会物理化学部門で若手研究者奨励賞を受賞	高須伶香	化学
2019/9/11	理工学部同窓会懇親会において「菱実会・理工学部広報賞」授与式とSTEPs活動報告を実施	重富敬太・坂梨慧一・三坂祐人・西村昭彦	電気電子

### ◆菱実会・理工学部広報賞一覧（2019年度後期分）（受賞学生人数：34名）

記事日付	記事名	学生氏名	教員の部門
2019/10/1	佐賀市適応指導教室「くすの実」で大学院生らが理科実験教室を実施(4)	重富敬太・高木 伸太郎・壇 亮太	化学
2019/10/15	機械システム工学科学部生がビジネスプランコンテスト「さがラボチャレンジカップ2019」で優秀賞を受賞	山城佑太	知能
2019/10/18	先端融合工学専攻大学院生が電気学会 基礎・材料・共通部門優秀論文発表賞を受賞	岸田貴斗・古川大智	電気電子
2019/10/25	佐賀市適応指導教室「くすの実」で大学院生らが理科実験教室を実施(5)	重富敬太・崎田翔太・壇 亮太	化学
2019/11/12	理工学専攻機能材料化学コース大学院生が第34回日本イオン交換研究発表会で優秀賞を受賞	坂村僚太	化学
2019/11/18	理工学専攻電気電子工学コース大学院生が日本表面真空学会九州支部学術講演会で学生講演奨励賞を受賞	西村昭彦	シンクロ
2019/11/28	佐賀市適応指導教室「くすの実」で大学院生らが理科実験教室を実施(6)	重富敬太・高木 伸太郎・崎田翔太	化学
	循環物質化学専攻大学院生が国際会議JTK2019においてExcellent Poster Awardを受賞	石原孝明	化学
2019/11/29	循環物質化学専攻大学院生が第38回溶媒抽出討論会で優秀ポスター賞を受賞	龍 美月	化学
	理工学専攻機能材料化学コース大学院生がThe International Joint Meeting of the Polarographic Society of Japan (PSJ) and National Taiwan University (NTU)でExcellent Poster Awardを受賞	中尾紫乃	化学
2019/12/2	理工学研究科理工学専攻電気電子工学コース大学院生が第4回フロンティア太陽電池セミナーで優秀ポスター賞を受賞	三島聖也	電気電子
2019/12/9	理工学部電気電子工学科4年生がIEEE IM Japan Chapter Student Awardを受賞	阿部泰大	電気電子
2019/12/12	循環物質化学専攻大学院生が国際会議JTK2019においてExcellent Poster Awardを受賞	石原孝明	化学
2019/12/16	インドネシアのスリビジャヤ大学とスラバヤ工科大学から教員・大学院生を受け入れ研修活動を実施	中尾紫乃・桑原和史	化学
2019/12/26	致遠館高校スーパーサイエンスハイスクール「大学研修」を実施	岩本大輝・江頭祥大・萱島立樹・菊地玲皇	電気電子
	工学系研究科システム創成科学専攻の大学院生がIEEE AP-S Japan Student Encouragement Awardを受賞	Maodudul Hasan	電気電子
2020/1/7	電気電子工学専攻と理工学専攻電気電子工学コース大学院生2名が2019年演算増幅器設計コンテストで奨励賞を受賞	森下伊織・古賀洗希	電気電子
2020/1/22	理工学専攻機械システム工学コース大学院生が計測自動制御学会九州支部学術講演会学生発表交流会優秀発表賞を受賞	吉弘季幸	機械
2020/2/4	インドネシアのカリマンタン工科大学、スラバヤ工科大学とタイのチュラロンコン大学から教員・学生を受け入れ共同研究活動を実施	成瀬 茂・塚本晃啓	化学
2020/2/17	理工学部電気電子工学科4年生が学生会講演奨励賞を受賞	森 大記	電気電子
2020/2/20	国内最大級の学生ビジネスプランコンテスト「第16回キャンパスベンチャーグランプリ全国大会」で機械システム工学科学部生が最優秀賞の「経済産業大臣賞」を受賞	山城佑太	知能

## 新たなキログラムの定義を導いたプランク定数の測定

国立研究開発法人 産業技術総合研究所に勤務  
倉本 直樹 (化学・H5卒)



茨城県つくば市にある産業技術総合研究所で、質量標準研究グループ長として、質量の単位「キログラム (kg)」についての研究を行っています。1 kgが具体的にどれくらいの質量かを定めているのがキログラムの定義ですが、1889年以降、世界に一つしかない分銅「国際キログラム原器」の質量としてのキログラムは定義されてきました。ただし、国際キログラム原器の質量は、表面の汚染などによって変動してしまいます。そこで、世界中どこでも変わらず、時間と共に変化しない物理定数でキログラムを定義する研究が世界各国で進められてきました。この目的のために、私は原子の質量と関連する物理定数「プランク定数」の測定を、約20年間実施してきました。2019年には130年ぶりに定義が改定され、国際キログラム原器は引退しました。新たなキログラムの定義の基準となったのは、世界の五つの研究機関が測定した八つのデータから決定されたプランク定数です。私が筆頭・責任著者として作成した論文で報告したプランク定数も、その決定にデータのの一つとして公式に採用されています。

佐賀大学での学部(化学科)・大学院の9年間では、研究を進めるのに必要な基礎的な知識や心構えを教えてくださいました。科学史に残るキログラム定義の改定に貢献することができたのも、当時お世話になった先生方のおかげだと存じます。厚く御礼申し上げます。

## 感染症対策にも遊び心を！

佐賀大学大学院理工学研究科1年  
山城 佑太 (機シ・H28入)

今年の春は、誰にとっても想像とは違う春だったと思います。3月に理工学部を卒業し、4月から大学院の理工学研究科に進学した私も想像とは違いました。何よりも、卒業式も入学式も無く、大学院に進学した実感を持ってないまま講義が始まってしまいました。情勢により変化した大学のオンライン講義は、初めこそ戸惑いもありましたが、これはこれで長所があり、移動時間が短縮出来たり課題にじっくり取り組めたりと私にとっては充実しています。

昨年起業した株式会社山城機巧を通して、社会の変化を感じています。主力商品である、座った時の腰のつらさを軽減する“フワット”は、お家時間が増える中でニーズが高まっているようです。ありがたい事に、今までに多く多くの注文を頂いています。この春の新たな活動として、役場窓口のエチケットシールドを製作しました。エチケットシールドとは、最近レジなどで見かける飛沫を抑える透明な壁の事です。製作のきっかけは吉野ヶ里町役場からの相談でした。以前から、“目立つ物なのに無機質な壁で終わらせるのはもったいない”と考えていた私は、吉野ヶ里の地域性を反映したデザインを提案しました。シールドの透明な部分の外形が勾玉をイメージしたのになっています。手前味噌ですが、阻害感や圧迫感が薄まり、楽しく親しみやすいと評判です。長期戦の中でシールドは、少しずつ遊び心のあるデザインに置き換わっていくと予想しています。この予想は当たるでしょうか？ 少なくとも山城機巧は、楽しく話せるように工夫してシールドを製作する事で、微力でも社会を明るくしていきます。





## 2019年度（第21回）菱実会総会・記念講演・懇親会を終えて

2019年9月7日(土)、佐嘉神社記念館に於いて、佐賀大学理工学部同窓会（菱実会）の総会・記念講演・懇親会を開催しました。参加者は、82名（会員68名、招待者14名）でした。

九州北部を中心とした記録的短時間豪雨災害に遭われた皆様や御親戚の方々には、心よりお見舞い申し上げます。そのような状況での開催でしたが、卒業生の方々に多数御出席頂きまして誠にありがとうございました。

同窓会の御出席について常々考えておりますが、20歳代・30歳代は実務に追われ、なかなか出席の糸口がつかめない方が多いと思います。さらに、40歳代で会社外部との交流を開始し、50歳以上で同級生を伴い、出席にこぎつけて頂いているのではないかと推察いたします。

その中で、菱実会では「友人と参加することになった」、「先輩から誘われた」、「一人だが、なんとなく参加したい」等の偶発的な状況に対処できるように、門戸を広げていきたいと思っております。また、御参加されることによって、何年か後に仕事や新人の求人等に役立つことも多々あります。

卒業生の皆さん、理由の如何に関わらず、可能な時に出席してみませんか？ 世界が少しだけ違って見えるかも知れません。今回の菱実会総会・記念講演・懇親会の運営に際しまして、実行委員・役員・事務局の皆様には厚く御礼申し上げます。 (実行委員長：小玉 純士)

## 2020年度菱実会（理工学部同窓会）総会開催について

2020年度の菱実会の懇親会・記念講演は中止することになりました。総会は、2020年9月5日(土)に、菱の実会館多目的室で開催する予定ですが、新型コロナウイルス感染拡大の収束状況次第になると思っております。開催情報については菱実会ウェブサイトの「新着情報」をご覧ください。

## 理工学部同窓会（菱実会）役員（2020年度－2021年度）の紹介

役職	担当	氏名	学科・入学	勤務先	佐大同窓会役職・担当
会長		穂屋下 茂	機械・S45		副会長
副会長	庶務	島 公二武	機械・S46		理事長・庶務部長
副会長	会報	小玉 純士	建設・S57	ダン技術設計(株)	理事・会報発行部
副会長	情報管理	中島 道夫	化学・S43		理事・情報管理部
副会長	学生支援	宮地 幸夫	工化・S46		理事・学生支援部
副会長	組織強化	山口 智啓	生機・S48		理事・支部強化部
理事	庶務	牧瀬 稔子	数学・S55	佐賀市役所	
理事	庶務	田中 稲穂	化学・S61	(株)AIT物産	
理事	庶務	津留 保生	電気・S61	津留公認会計士事務所	理事・庶務部
理事	庶務	古川 裕紀	生機・H4	佐賀県議会	
理事	会報	田中 高行	電子・S57	佐賀大学	
理事	会報	岩部 敦也	電気・H2	(株)戸上電機製作所	
理事	会報	舘上貴由樹	都市・H12	佐賀大学	
理事	情報管理	高崎 光浩	化学・S56	佐賀大学	
理事	情報管理	山中 輝樹	情報・H2	(株)佐賀電算センター	
理事	学生支援	池上 康之	生機・S57	佐賀大学	
理事	学生支援	中西 美香	数学・S63	佐賀商業高等学校	
理事	学生支援	山城 佑太	機械・H28	佐賀大学(院)	
理事	組織強化	樋口 幸弘	土木・S49	松尾建設株式会社	
理事	組織強化	香月 俊彦	機械・H22	(株)ミゾタ	
監事		椿 忠彦	物理・S48	龍谷中学校・高等学校	監事
監事	(顧問)	秋永 正幸	機械・S41		

# 菱実会役員の自己紹介

## 佐賀大学とのご縁

中西 美香 (数学・S63入)



本年度より菱実会の理事を務めることになりました1992年理工学部数学科卒業の中西美香と申します。佐賀県の県立学校高校教員として、教員生活29年目を迎えます。現在は、佐賀商業高校で主幹教諭として勤務をしています。また、2017年度に佐賀大学大学院学校教育学研究科（教職大学院）を修了し、昨年度から教職大学院の非常勤講師（客員准教授）も兼務しています。大学を卒業して25年以上経ってから再び佐賀大学と関わる機会をいただき、これも何かのご縁だと有り難く思っています。最近、理工学部で数学の教員免許取得をめざす学生さんを対象とした教育実習事前指導・事後指導を行う機会がありましたが、今後も微力ながら、佐賀大学、理工学部並びに菱実会の発展のために尽力したいと思います。一昨年度、久しぶりに同窓会に参加したことがきっかけで菱実会の役員をお引き受けすることになりましたが、女性目線での役割を担うことができればと思っております。どうぞよろしく申し上げます。

## 菱実会の存在を広めたい

山中 輝樹 (情報・H2入)



2018年と2019年に同窓会総会の実行委員を務めさせていただいたご縁もあり、2020年度から菱実会の理事を務めさせていただくことになりました。平成2年に情報科学科（現：知能情報）に入学し、大学院含め6年間在籍していました。現在は、株式会社佐賀電算センターに勤務し、自治体向けパッケージシステムの開発・提供の業務に従事しています。北は北海道から南は沖縄まで、全国の自治体などにシステムを導入させていただいているところですが、出張も全国津々浦々行っているところですが、この原稿を書いている時点では、新型コロナウイルスの影響で、県外出張を自粛しているところですが、当社は、佐賀に本社を置く企業ということもあり、佐賀大学出身の社員がたくさん在籍しています。今年の新入社員についてもその3分の1が理工学部出身者ということで、菱実会の後輩がたくさんきて嬉しい限りです。今後は、菱実会のことを社内だけでなく、広くみなさんに知っていただけるよう、取り組んでいきたいと思っております。



# 菱実会の動き

2019  
4月

2020  
3月

- 2019. 4. 3 佐賀大学入学式（学部生1,340人・編入学部生34人・大学院生272人・外国人留学生40人ら 計1,686人）
- 3 \*理工学部在学生表彰（計14名）
- 4 佐賀大学全学部新入生オリエンテーション
- 4 ○佐大同窓会会計監査（～5日）
- 4 \*理工学部同窓会会計監査（～16日）
- 11 ○佐大同窓会「第1回代表役員会」
- 18 ○佐大同窓会「春期定例役員会・懇親会」
- 25 \*理工学部同窓会「菱の実」No.21号編集会議
- 5. 9 \*第1回菱実会役員会
- 16 ○佐大同窓会「佐賀大学との意見交換会」
- 18 ○熊本支部総会・懇親会／メルパルク熊本
- 23 ○佐大同窓会「巻頭言」練習
- 6. 6 \*第2回菱実会役員会・第1回実行委員会
- 20 ○佐大同窓会「第2回代表役員会」
- 26 \*第3回菱実会役員会・第2回実行委員会
- 7. 1 ○佐大同窓会会報「楠の葉」No.31発行
- 1 \*理工学部同窓会 会報「菱の実」21号発行
- 26 ○佐賀市役所支部総会・懇親会
- 8. 21 \*第4回菱実会役員会・第3回実行委員会
- 9. 7 \*理工学部同窓会「総会・記念講演・懇親会」
- 12 ○佐大同窓会「巻頭言」練習
- 21 ○佐大会総会・懇親会
- 28 ○神埼地区会総会・懇親会
- 10. 10 ○佐大同窓会「第3回代表役員会」
- 17 ○佐大同窓会「秋期定例役員会」・懇親会
- 18 ○福岡地区支部総会・懇親会
- 19 佐賀大学「大学祭」～20日
- 23 ○キャリアデザイン／手塚 豊 氏（理工学部卒）
- 24 ○佐大同窓会会報発行部会「楠の葉No.32」編集会議

- 24 \*第1回菱実会会長・副会長会議
- 26 ○有田地区会総会・懇親会
- 30 ○キャリアデザイン／黒木泰彦 氏（経済学部卒）
- 11. 8 ○長崎支部総会・懇親会
- 10 ○東海支部総会・懇親会
- 13 \*キャリアデザイン／中村正太 氏（理工学部卒）
- 16 ○諫早支部総会・懇親会
- 16 佐賀大学ホームカミングデー
- 20 \*理工学部と理工学部同窓会との意見交換会
- 23 ○大分支部総会・懇親会
- 23 ○第27回佐賀県青春歌祭
- 30 ○伊万里地区会総会・懇親会
- 12. 11 ○キャリアデザイン／宮崎咲江 氏（農学部卒）
- 16 \*第4回菱実会賞表彰式
- 16 \*第5回菱実会役員会・第4回実行委員会（反省会）
- 2020. 1. 1 ○佐賀大学同窓会会報「楠の葉」No.32発行
- 15 \*第2回菱実会会長・副会長会議・新年会
- 18 ○鹿児島支部総会・懇親会
- 18 大学入試センター試験
- 22 ○宮崎前佐賀大学学長との懇談会
- 2. 1 \*菱実会会報「菱の実」臨時号No.2発行
- 8 ○関西支部総会・懇親会
- 8 ○唐津地区会総会・懇親会
- 20 ○芸術地域デザイン学部同窓会発会式
- 3. 4 \*菱実会同窓会名簿（2019年度版）の発行
- 12 佐賀大学後期日程入試
- 19 \*理工学部長との面談（菱実会会長）
- 24 佐賀大学学位授与式（卒業式）は中止
- 29 \*第3回菱実会会長・副会長会議
- \*理工学部同窓会「生涯学習サイト編集会議」は39回開催した

（\*印は理工学部同窓会、○印は佐賀大学同窓会、無印は佐賀大学）

## 佐賀大学ホームカミングデーの紹介

佐賀大学ホームカミングデーは2012年（平成24年）から、毎年11月頃に佐賀大学学長主催で、本庄キャンパスで開催されています。目的は、佐賀大学の卒業生に母校を訪問してもらい、母校の現状を知り、学友との再会と交流を深め、今後の母校への御理解と御支援をいただくことです。参加者対象は、はじめは卒業年度を指定して招待しておりましたが、最近は卒業年度等にかかわらず、すべての同窓生と本学の名誉教授の方々となっております。内容は、大学の近況報告、記念講演、学生の発表、学内の見学、懇親会等の多彩な催しが計画されます。

2019（令和元）年度は第8回目で、兒玉浩明新学長主催で開催されました。2020年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催については危ぶまれますが、開催される折には是非ご参加ください。詳細な情報は、佐賀大学校友会WEBサイト（URL:<https://koyukai.admin.saga-u.ac.jp/index.html>）をご覧ください。



## 菱実会ウェブサイトの充実

菱実会の活動状況は、菱実会ウェブサイトをご覧ください。新着情報や活動報告、役員、会報、支部会地区会、菱実会賞などのメニューがあります。活動報告をみると、昨年度の菱実会の大方の活動を知ることができます。会報では、過去に発行した菱実会会報の「菱の実」を全てみることもできます。スマートフォンでもご覧いただけます。是非、訪問して下さい。



## 菱実会生涯学習サイトのご紹介

菱実会では、オンライン型の菱実会生涯学習サイトを構築しています。学修意欲がある限り人生には新しい展開があると思います。オンライン学習に対応するためには、定年後といわず、頭が柔軟な若いころから、そのような環境に慣れ親しんでおくことが肝要です。



オンライン型学習サイトを構成する学習管理システムでは、ウェブ会議室を設けてアイデアを集めたり、過去の各種データを共有したりしつつ、いろいろな活動に役立てることもできます。菱実会ルームは役員専用のコースで、役員が全員集合しなくても、オンラインで役員会等の会議も開催できるようになりました。

## 第5回菱実会賞への応募の勧め（在学生に向けて）

菱実会賞は、社会活動、課外活動、学術研究活動などの活動において成果や評価が顕著である理工学部在学生を表彰するための理工学部同窓会（菱実会）の取り組みです。活動成果の事例としては、学生企業を立ち上げている、コンテスト等で入賞した、全国レベルのスポーツ大会等で入賞した、ボランティアの代表でその成果が新聞等で何度も紹介された、学会や国際会議等で発表した論文等の主著者である、特許出願をした、3年間の全履修科目の平均GPA (Grade Point Average) が高得点であった等が考えられます。就職活動にも役立つことと思います。理工学部1年生～4年生の多くの学生諸君の積極的な応募をお待ちしております。



## 支部会・地区会の開催状況（卒業生に向けて）

佐賀大学を卒業した方々の集まりである同窓会組織として、佐賀県外に15支部会、佐賀県内には11地区会と2職域支部会があります。菱実会では、会長もしくは副会長がなるべく出席するようにしています。2019年度には、県外支部の7支部、佐賀県内地区会の4地区、職域支部の1支部の総会・懇親会が開催されました。その他、全学部同窓会の定例総会・懇親会、佐賀県青春寮歌祭、佐大会、佐賀大学ホームカミングデーなどが開催されました。なお、2019年度の各支部会・地区会等の開催の様子は、菱実会ウェブサイトの「支部・地区会」に掲載しております。ご覧になって、次回開催される折には、是非ご参加ください。



## お問い合わせ先

佐賀大学同窓会事務局

TEL:0952-23-1253 FAX:0952-25-5700 e-mail:dousoukai@sadai.jp

\*住所等の変更があった場合も、右のQRコードで示すウェブページをご利用ください。

